

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和4年 6月28日

作成者：大 脇 巧 己

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
特定非営利活動法人さんぴいす	
事業名	日時(期間), 場所
あしや冒険ひろば	原則 毎月第三日曜日 年間 12回開催 高浜団地2号棟前のひろばと第二集会所
内容(実績) *実施したことを具体的に	受益者数
当事業は、兵庫県青少年本部の助成事業として、子ども達に対し、安全・安心して遊べる場の提供を目的として県内各地で実施されている。コロナ禍でまん延防止等特例措置の発令などもあったが、新型コロナウイルスに対する感染予防徹底し、集会所の窓を常に開け換気し、子ども達が遊んだおもちゃなども、その都度アルコール消毒をおこなうなどして年間12回の開催をおこなった。	ひろば利用者と 近隣住人 (200) 人
	参加者数
	広場に参加した 子育て中の親子 (145) 人
成果(社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
コロナ禍も3年目となり、参加者自身が感染防止行動をとってくれる上に、乳幼児への感染拡大はあったものの、重症化はほとんど起きないことと、利用者である親子からも、こんな時だからこそ、子ども達を自由に遊ばせられる場所として開催して欲しいとの要望も頂いたので、予定通り今年度は年間12回の開催をおこなった事により安心・安全に遊べる場の提供が出来たと考えている。これにより昨年度を超える参加者に利用をしてもらう事が出来た。	
今後の展望(どのように継続, 発展するか)	
コロナ禍での三密の防止として、非接触体温計による検温や消毒、室内の二酸化炭素濃度計の設置など、感染防止を続けつつ、引き続き活動を継続したいと思っています。 また、今年度は中学受験も多い地域性を考慮し、中学生以上のひろばへの受け入れは行いませんでしたが、今年度は状況をみつつではあるが、中学生以上の参加者やボランティアの受け入れも実施していきたいと考えている。 尚、当事業はこれまでNPO法人さんぴいすとして実施してきたが、令和4年度からは、一般社団法人さんぴいすとしての実施を予定している。	